



# きらめく風

すすんで学ぶ子ども 心ゆたかな子ども 体をきたえる子ども

## 60周年記念運動会

旭町小学校校長 道山 正史

先日の朝、豊溪中学校の生徒が、本校の校門や昇降口のところで登校してくる小学生に「おはよう！」「イエーイ！」などと言いながら、ハイタッチをする子どもいたりして、ふれあってくれていました。小中連携の一環として行っている「あいさつ運動」の一コマです。お隣にある豊溪中学校は、今年度70周年を迎えました。旭町小学校が60周年ですから、いつも周年行事の時はいっしょの年に行うこととなります。いろいろな意味でいつも協力し合う学校同士のつきあいみたいなものがあります。ついこの前に行われた豊溪中学校の運動会にも、旭町小学校の子供たちがたくさん見に来ていて、とても和やかな光景でした。「あいさつ運動」でも、ふだんからよく知っているといった雰囲気であってもちょっと恥ずかしいといった感じでお互いが活動していました。

その豊溪中学校の70周年記念式典が5月27日(土)に行われました。運動会の1週間後に記念式典を行うなどということは、とても慌ただしかったに違いなく、それでもしっかりとした立派な姿は、さすが中学生だなと思いました。同じ地域にある学校としてとても誇らしく思いました。

さて今度は6月3日(土)が本校の60周年記念運動会です。約3週間の練習で鍛えた演技や競技で、精一杯頑張ってくれることでしょうか。豊溪中学校やちがう中学校に進学していった中学生もたくさん見に来てくれるかもしれません。自分たちが小学生だったとき、そういえばあんなことを頑張っていたなとか、これは今年初めてだなとか、そういう風に思いながら地域の小学校の運動会も是非見てほしいと思います。そして自分たちが旭町やその周辺で暮らしている地域の一員として成長して行ってほしいと思うのです。小学校は小学校の、中学校は中学校の運動会の価値付けや意義というものがあると思います。しかし地域にとっては、この地域で行われる大きな行事の一つなのです。おじいちゃんもおばあちゃんも、そして大きくなったいろんな年齢の昔の小学生にも是非いっしょにご覧になっていただき、今の小学生を励ましていただければ幸いです。